

令和5年度 外郭団体 評価シート

団体名	公益財団法人静岡市まちづくり公社	所管課	総務課
設立目的	まちづくり支援事業、スポーツ・健康増進事業、文化教養事業、コミュニティの場の提供等を通じて、健やかで文化的な市民生活の向上と快適な地域社会の実現を図り、もって生き生き暮らせる静岡市の創造に寄与することを目的とする。		
団体の役割	<p>1 賑わいの創出</p> <p>①中心市街地整備推進機構として、まちづくり公社が所有・管理する拠点を活用し、コミュニティの場を提供することで、賑わいを創出し中心市街地のまちづくりに貢献するとともに、中心市街地活性化に資する関係団体、関係者や商店街組織とのネットワークを活用してエリアマネジメントを推進すること。</p> <p>②安定したスポーツ環境の提供、様々な人がスポーツを楽しむ機会の提供、歴史文化を学ぶ機会の提供、地域資源を活かした魅力あるイベント等の開催及び周辺観光施設等との連携により交流人口・関係人口の増加や賑わいの創出に貢献すること。</p> <p>2 安全安心な暮らしの支援</p> <p>③住まいのセーフティネットとして、住宅に困窮する低額所得者等の住環境を整備し、安全安心な暮らしに貢献すること。</p> <p>④災害等緊急時における消防や医療機関等との安全な地上交通の確保に貢献すること。</p> <p>3 多様な公共性の提供</p> <p>⑤市と民間のはざまにおける、多様な公共性、公益性を担うこと。（例：他に適当な団体がない場合等に、団体の強みを生かした施設管理や業務を行うこと。市の行政分野に捉われず、複数の施設や業務を連携させることにより、相乗効果や新たな価値を生み出すこと。管理施設等を中心とした周辺地域との連携を通じ、地域の賑わいに貢献すること。）</p>		

《経営計画書 取組状況》

1 団体の取組状況

(1) 団体における取組と結果

施策	評価指標	目標値	実績	備考
中心市街地の賑わいの創出、まちづくり支援	MIRAIEリアン（コミュニティホール）の稼働率	47%	55.9%	
	賑わい創出に係る支援活動の実施	180回	175回	
	賑わい創出に資する自主事業の利用者満足度	90%	97.6%	
団体意見	<p>MIRAIEリアンは、週末を中心に、稼働率が伸び、平日は、利用促進事業として、ヨガ、ZUMBA®などを開催するなど、まちなかの拠点として賑わい創出に貢献した。</p> <p>賑わい創出に係る支援活動の実施についても、令和5年度は静岡市から新たに「商店街の持続的発展に向けた課題解決事業」を受託し、ワークショップや空きテナント調査・見学ツアーの開催など、商店街をはじめとする地域と協働した取り組みを行うことで、地域の課題解決を支援した。</p>			
1 関係課意見	<p>【商業労政課】 コミュニティホール七間町稼働率について、目標値を上回る結果となっている。引き続き、コミュニティホール七間町の利用を促し、さらなる稼働率の向上に努めていただきたい。</p> <p>また、賑わい創出に関する支援活動の実施回数は、目標値には届かなかったものの、令和5年度は中心市街地の空き店舗対策として、地元商店街とのワークショップの実施（計6回）や他都市の事例の調査及び研究、そして初めて空きテナント見学ツアーを開催するなど、空き店舗の解消に向けて地元商店街や市と連携しながら取りまとめた。引き続き商店街と連携したイベントの実施等により、中心市街地へのさらなる活性化を期待する。</p> <p>【都市計画課】 I Loveしずおか協議会の事務局として、中心市街地のエリアマネジメントを推進している。</p> <p>I Loveしずおか協議会や商店街等のまちづくり団体の会議に出席することで、地域と協働し、イベント等の実施サポートを適切に行っていた。</p> <p>引き続き、中心市街地におけるまちづくり活動の支援や賑わいの創出に取り組んでいただきたい。</p>			
施策	評価指標	目標値	実績	備考
交流人口・関係人口増加に資する施設等の管理、事業実施	健康づくりの拠点化事業の実施回数（スポーツ教室の教室数）	39回	40回	
	コミュニティの拠点化事業の実施数（地域活性化への取り組み事業数）	7回	5回	
	アスリートの拠点化事業の実施数（スポーツクリニックの実施回数）	2回	3回	
	歴史文化の拠点化事業の実施回数（駿府城公園ソフト事業、自主事業回数）	20回	20回	

<p>団体意見</p>	<p>目標達成達成状況としては、コミュニティの拠点化事業として計画していた事業が雨天中止等になった事業があるものの、その他事業においては目標を達成する事業が実施できた。各事業における参加者数についても、新型コロナウイルス感染症5類移行後、定員などの制限緩和なども行い、増加傾向にある。これからも健康づくりの拠点化事業（スポーツ教室の教室数）については、生活様式の変化などにより、利用者ニーズも変化しているため、ライフスタイル合わせた事業企画をしていく。</p>
<p>関係課意見</p>	<p>【スポーツ振興課】 ≪健康づくりの拠点化事業≫ 幅広い年齢層に向けた事業を展開することで、市民のスポーツ推進に包括的に取り組んでいる。特に、スポーツに関する市民意識調査の結果の課題として挙げられる「スポーツをする時間がない」「健康志向の高まり」といった点に着目し、働き盛り世代・子育て世代とその子どもを対象に楽しく体を動かす運動遊びや子どもの体力向上に特化したスポーツ教室など、多方面のニーズに対応した多種多様な事業の実施に取り組んでおり、市民ニーズを明確に捉えたサービス提供が市のスポーツ振興に大きく寄与している。</p> <p>≪コミュニティの拠点化事業≫ 各施設で地元地区や自治会等と連携した事業を継続して実施できている。様々なイベントを実施・共同開催することで地域や施設の活性化を目的とし人と人とのふれあいや賑わいの創出の構築に努めている。</p> <p>≪アスリートの拠点化事業≫ 積極的に誘致を行いアスリートのキャンプ地として採用されている。地域資源を活かしたトレーニングの提案や積み重ねたノウハウによる環境構築など、独自の価値を発信している。また、プロチームと連携し、地元の青少年を対象としたスポーツクリニックを実施し、子ども達のスポーツへの関心とスポーツ技術の意欲向上に繋げるなど地域のジュニア層育成に寄与している点も評価できる。</p> <p>【歴史文化課】 ≪歴史文化の拠点化事業≫ 募集人数に対して応募人数が多かった事業は関係各所と調整し、より多くの方に参加していただく努力や利用率が低い施設で新規事業を展開するなど、課題解決に向け、前向きに取り組む姿勢は評価できる。しかし、毎年募集人数に対し参加者（応募総数）が少ない事業もあるため、事業内容の抜本的な見直し等、改善を図られたい。 次年度以降は茶室等を活用したインバウンドや観光客の受け入れなど、積極的な事業展開に期待したい。</p> <p>【商業労政課】 ≪健康づくりの拠点化事業≫ 勤労感謝の日で開催されるイベントに合わせてワンコインデー（500円）を開催したり、新たなレッスン講座を企画・開催したりすることにより、新規利用者の獲得や新たな需要の開拓に努めていただいた。引き続き、交流人口増加に資する講座企画等施設運営に努めていただきたい。</p>

	施策	評価指標	目標値	実績	備考
3	セーフティネットとしての市営住宅の管理	入居者募集手続における公正・公平の確保	実施	実施	
		入居者満足度（住まいるアンケート満足度）	90%	92.6%	
		入居者を対象とした高齢者見守り体制の充実（元気応援コール）	12回	12回	
		福祉部署と連携した業務の実施（高齢者暮らしの相談会）	3回	3回	
		事故等の24時間体制の構築	実施	実施	
団体意見	入居者満足度について、目標値を上回る満足度を得られました。入居者の高齢者率が上昇しているなかで、高齢者が安心して暮らせるよう、見守り事業や、地域包括支援センターなどと連携した暮らしの相談会などを実施した。有明団地においては、子どもの居場所づくりをテーマに開催された「子ども食堂」に協力するなど、地域コミュニティづくりにも努めた。				
関係課意見	【住宅政策課】 多くの施設、多様な住民の居住する市営住宅を、長年にわたる経験とノウハウを活かし、本市と密に連携しながら、適切に管理している。また、団地の維持管理については、マンション管理士等の資格を有している職員が定期的に巡回し、専門的な視野で巡回した結果を市に報告しており、より具体的で計画的な修繕に繋げることができる点が評価できることから、今後も引き続き、経験とノウハウを活かした業務の遂行、市に対する積極的なアドバイスを期待する。				
4	施策	評価指標	目標値	実績	備考
	災害対策・防災支援を担うヘリポートの管理	設備の点検回数	実施	実施	
		管理瑕疵による事故件数	0件	0件	
団体意見	安全で快適な航空交通を実現するために、専門業者による法定点検だけでなく、職員による日常点検などを適切に実施した。災害・事故への対応力強化として、消防や警察と連携した訓練を実施した。 また、ヘリポート連絡協議会の開催、地元自治会の会合、自治会関係者の各種訓練見学など、地域との連携にも取り組んだ。				
関係課意見	【交通政策課】 法定点検以外にも、施設運営上支障となる可能性のある樹木の伐根等長年の実績を活かした運営を実施しており、管理瑕疵はなかった。引き続き安全管理に努め、事故ゼロの継続により安全なヘリポートの運営が望まれる。 消防や警察と連携し、夜間訓練や消火訓練を実施していた。また、緊急時の時間外利用のため、自治会や近隣へ年度当初に説明を行い、夜間訓練時には事前説明を実施するなど、災害・事故への対応力強化に努めている。 ヘリポート連絡協議会による見学会や学校等の児童・生徒の見学受け入れを通じ、地元関係者を含む参加者に対し、施設への理解を深める活動を実施していた。				

施策	評価指標	目標値	実績	備考
強みを生かした施設管理、左記の業務及び施設管理を生かした多様な公共性、公益性の担い手	公文書管理瑕疵による事故件数	0件	0件	
	道路パトロール距離数	54,000km	54,000km	
	施設間での連携事業数	6回	5回	
	地域振興支援事業数	12回	10回	
	大学等との連携事業数	5回	5回	
	上記事業参加者の満足度	90%	88%	
団体意見	施設間での連携事業、地域振興支援事業において、雨天中止などを理由に開催できなかった事業があるものの、公社が管理する施設間および関係団体等との連携・協働した事業を実施することで、管理施設のPR・利用促進及び連携強化などの相乗効果が得られました。地域の課題解決にむけて、提案や支援を今後も推進していく。			
5 関係課意見	<p>【総務課】 公文書管理業務については、複合施設の管理者として一体的な管理を行っていただいております。管理瑕疵もなく、適切に業務を実施している。 施設間での連携事業については、スルガフェスや大浜ビーチフェスタなど、市主催イベントや地域イベントへ積極的に参加し、各管理施設のPRを行うとともに、公社が行う事業の普及啓発に取り組んでいる。 地域振興支援事業については、管理施設を活用し、地域や関係団体等と連携して「いはらフェス」や「蛇塚まつり」などを開催しており、地域振興と交流人口の増加を図る事業を積極的に実施している。 大学等との連携事業については、J-STEPにおけるフィールドワークの実施や各施設におけるインターンシップの受け入れ、大学授業への講師派遣などを実施しており、公社の持つ価値を広く提供するとともに、地域人材の育成や活動の支援に取り組んでいる。 上記事業の目標値に対する実績値としては、雨天中止となったものを除き、計画どおりの事業数が実施されている。参加者の満足度も、目標値には届かなかったものの平均88%と高い満足度を得ることができている。 これらの事業は、長年、継続的に実施されている取組も多いと思われるが、これまで培ったノウハウや関係団体との協力関係を活かし、社会情勢やニーズの変化に合わせて事業内容やターゲットを変化させるなど、積極的な取組を今後も期待したい。</p> <p>【道路保全課】 道路パトロール管理業務については、車内から道路の異常を確認しながら、長時間にわたり市内を移動し、補修作業を実施して頂いている。今後とも適切な道路管理ができるように尽力していただきたい。</p>			

(2) 取組全体の総括

外郭団体	
<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの拠点施設として、施設と商店街を連携させた事業にも積極的に取り組み、いつでも活気に満ちあふれ、住む人、訪れる人をワクワクさせる中心市街地にする事で、商業機能の向上、賑わいの創出に貢献した。 ・新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、利用等に関する規制も緩和され、教室・イベントなどを計画どおり実施することで、交流人口・関係人口の増加や賑わいの創出に貢献することができた。 ・セーフティネットとしての市営住宅の管理においては、入居者満足度の指標についても前年度を上回る結果であり、安全安心な暮らしの支援に貢献する役割を果たせた。 ・複数の施設や業務を連携させることにより、相乗効果や新たな価値を生み出すことや管理施設等を中心とした周辺地域との連携を通じ、地域の賑わいについても、地域や関係団体と良好な関係を構築することで、多様な公共性の提供の担い手としての役割を果たせた。 	
静岡市	
<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地や地域における賑わいの創出事業から、住まいのセーフティネットである市営住宅等の管理運営まで、幅広い分野で積極的に事業を展開した。 ・令和5年度においては、コロナの影響による利用制限等が緩和されたことで、自然災害による影響があったものを除き、計画どおり取組を実施することができた。 ・個々の事業の実施にあたっては、地域や関係団体等と連携した事業を積極的に実施している。委託事業や指定管理業務上の指定事業以外にも、利用者のニーズや社会的ニーズを捉えた自主事業を積極的に行っていることが、各事業における高い満足度に繋がっていると考えられる。一部で満足度が目標値を下回っている事業があるものの、アンケート結果を踏まえ、今後も試行錯誤を行いながら、より効果的な事業の実施に向けて取組んでいただきたい。 	

2 団体の財務・人員の状況

(1) 収支状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	増減理由等補足事項
収入	事業収入	1,789,250	1,782,360	
	事業外収入	12,143	190,613	安倍口団地店舗付住宅、公社所有住宅（新間・古瀬名）の事業廃止に伴う減価償却引当資産取崩収入
	その他	0	0	
	合計	1,801,393	1,972,973	
支出	事業支出	1,824,942	1,841,516	
	事業外支出	14,818	172,024	安倍口団地店舗付住宅解体費用が発生したため増加
	その他	0	0	
	合計	1,839,760	2,013,540	
収支差		-38,367	-40,567	

(2) 正味財産（純資産）の状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	増減理由等補足事項
収入	経常収益	1,789,250	1,781,990	
	経常外収益	0	0	
	その他	0	0	
	合 計	1,789,250	1,781,990	
支出	経常費用	1,843,468	1,872,560	
	経常外費用	1	61,084	安倍口団地店舗付住宅解体に伴う除却
	その他	4,947	3,174	
	合 計	1,848,416	1,936,818	
収支差		-59,166	-154,828	

(3) 資産の状況

区分		R4年度決算	R5年度決算	備考（増減理由・内訳等）
資産	固定資産	1,167,748	1,066,224	
	流動資産	327,429	358,429	
	合 計	1,495,177	1,424,653	
負債	固定負債	199,714	212,452	
	流動負債	138,766	210,332	
	合 計	338,480	422,784	
正味財産	基本財産／資本金	386,300	386,000	
	剰余金等	770,396	615,568	
	合 計	1,156,696	1,001,568	

(4) 職員数の推移

年度	種別	職員種別			合計	増減理由等
		市OB	プロパー	その他		
R4	常勤	10	39	176	225	
	非常勤	0	0	0	0	
	臨時	0	0	0	0	
	合計	10	39	176	225	
R5	常勤	7	37	180	224	(市OB) 部制廃止に伴う減員 (プロパー) 3名退職、1名登用
	非常勤	0	0	0	0	
	臨時	0	0	0	0	
	合計	7	37	180	224	
R6	常勤	6	40	185	231	(プロパー) 3名登用に伴う増
	非常勤	0	0	0	0	
	臨時	0	0	0	0	
	合計	6	40	185	231	

(5) 財政・人員体制の現状分析・課題

(財政)

- ・令和2年度以降4年連続で、赤字決算となっており、コロナ禍以降、厳しい経営状況が続いている。
- ・指定管理事業における利用料金収入が、コロナ禍前の水準に回復しておらず、生活スタイルの変化もあり、トレーニング室などを有する施設などは、まだコロナ禍前（令和元年度）の7～8割程度となっている。
- ・指定管理施設における、人件費、特にパート賃金については、最低賃金のアップに伴い、申請時の収支計画より大幅に上回る状況となっている。最低賃金の影響は、委託費にも出ており、委託料も増加している。
- ・物価高騰などによる影響として、光熱費等は、精算方式となっているものの、その他消耗品などの値上げも大きな影響が出ている。

(人員体制)

- ・プロパーの年齢構成に偏りがある。
- ・特に50代に集中しており、先3年間は人件費のピークを維持することとなる。
- ・令和9年度以降、人件費のピークが過ぎると同時に、経験豊富な職員が立て続けに退職する。
- ・次世代を担う人材への業務継承を組織的に行う必要があり、年齢構成に配慮しながら計画的に人材を育成する必要がある。

(6) 分析結果や課題を踏まえた団体における財政・人員体制の見通しと今後の取組

(財政)

- ・指定管理事業においては、ライフスタイルに合わせた事業の実施など施設の利用促進を図り、利用料金収入の増加に努める。また、事業廃止に伴う固定資産を売却して運転資金への充当や、資金運用については、国債、地方債による運用益の向上を図り、経営状況の安定化を図っていく。

(人員体制)

- ・長期的な事業展開に相応しい組織バランスに配慮しながら、計画的に人材を補充するとともに、次世代を担う人材への業務継承、必要資格の取得、研修や人事異動による能力の向上を図り、人材育成に努める。

3 全体総括・評価

外郭団体
<ul style="list-style-type: none">・指定管理施設における利用料金収入がコロナ禍以前の水準まで回復しておらず、大きな損失要因となっている。当面の間は、指定管理事業を継続する必要があるが、将来的には、総合的な市のまちづくりのパートナーと成り得る指定管理以外の事業を新たに模索、検討する必要がある。
静岡市
<ul style="list-style-type: none">・会社の基本理念「管理施設を拠点とする『まちづくり広場』の形成」に向け、市からの指定管理業務や委託業務を中心に会社独自の事業も展開し、幅広い分野で積極的に事業を実施している。会社が管理する施設においては、適切に管理運営を行うだけでなく、長年にわたって培われたノウハウやネットワークを活かし、管理施設を活用して地域や関係団体と連携した事業を実施するなど、地域振興と交流人口の増加に資する事業の実施に、継続的に取り組んでいる。・一方で、経営面の評価としては、コロナ禍以降の生活様式の変化による利用料金収入回復の伸び悩みや、物価高騰の影響による支出増により、指定管理事業において赤字決算が継続しており、厳しい経営状況が続いている。・発注者である市としての課題でもあるが、会社としてもこれまでどおりの管理運営を継続するのではなく、生活様式の変化に対応した事業展開が図られることにも期待したい。

4 市への要望・意見（外郭団体記載）

<ul style="list-style-type: none">・指定管理施設においては、老朽化が進んでいる施設が多数あります。市のアセットマネジメントの推進も含め、現指定管理施設における大規模改修計画、指定管理者制度の存続計画などを示していただきたい。・指定管理者制度においては、人件費を含めた支出面について、積算方法（基準）の見直しなどを、指定管理期間内でも柔軟に対応できるようにしていただきたい。・指定管理施設において、レストラン・売店営業に伴う、目的外使用などの見直しをしていただきたい。
--

5 外郭団体への要望・意見（所管課記載）

<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍を経て、利用料金収入が回復していないことが赤字の要因の一つとなっているため、社会情勢や生活様式の変化に対応した事業展開を積極的に検討いただき、経営健全化に努められたい。また、現在の運用上で支障がある点については、市に対しても積極的に提案いただき、今後とも連携して市民サービスの向上を図られたい。・現在、指定管理業務が会社における事業の大部分を占めているが、公共施設は老朽化が進んでおり、今後アセットマネジメントの推進や社会情勢の変化といった観点から、施設の在り方が見直されていくものと考えられる。市としても方針が定まり次第、情報共有を行っていき、今後の会社の事業方針について、検討を進めていただきたい。
